学校番号	110

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	造形表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の基礎であるデッサンや構図について学びます。
・具象表現に捉われず様々な表現技法を使い、絵の具・素材の持つ質感、現象を表現に活かす造形表現を行い自分自身の個性を作り上げ、制作の喜びを体験しましょう。
・どうすれば自分が伝えたいものに近づけるかを考え、イメージを深め工夫して表現しましょう。
・自他の作品を鑑賞し合評することで他者の感性や表現に触れ、自他の違いやそれぞれの美しさを素直に認め合う心を養うことや、達成感を味わい、美術を愛好する心情を育てることをめざします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美術に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や工芸、伝統や文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（1）デッサンや色彩表現を学び、対象や事象を捉える造形的な視点への理解を深めるとともに、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現技法によって得られる豊かさを作品に活かす。
（2）作品鑑賞等によって表現の美しさを理解し、共感できる姿勢を養い、自分なりに制作のイメージをまとめて計画を立て、造形的なよさや美しさを考えた主題を生成し、創造的に表現できるようにする。
（3）主体的に美術の創造活動に取り組み、合評等を通して自他の作品の美しさや違いに共感する姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・デッサンや色彩表現を学び、造形的な視点について理解している。 ・鑑賞や習作を通して様々な表現方法に触れ、意図に応じて表現方法を工夫し、作品に活かしている。	・自分なりにイメージをまとめて計画を立て、造形的なよさや美しさを考えた主題を生成し、創造的に表現している。 ・制作活動や相互鑑賞を通して美術や工芸に対する見方や感じ方を深めている。	・主体的に美術の創造活動に取り組もうとしている。 ・合評を通して、相互鑑賞し批評し合うことで自他の良さや違いに気付くことが出来る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	クロッキー・デッサン	・交換でモデルを行い、素早く描く力を身につける。 ・時間内で対象物の特徴を捉える観察力を養う。 ・自他の作品を鑑賞し、互いのよさや違いに気づく。	a:クロッキーとデッサンの違いについて理解している。 b:印象的な作品にするために、効果的な画面構成ができる。 b:対象物をよく観察して表現できている。 c:具象表現について理解し、作品の良さを自分の言葉で表現できる。	ワークシート	作品	授業観察 合評態度 振り返りシート
	作品鑑賞	・アートとは何かを考える。 ・様々な作家の作品を鑑賞し、表現方法に触れるとともに鑑賞の仕方やものの見方について考える。 ・夏休みに美術館等へ行き、鑑賞レポートを提出する。	a:美術の表現方法を理解している。 b:作家作品のよさや美しさ、意味や構成について自分なりに考え、主題を生成し、表現することができる。 c:様々な作品を鑑賞することで表現方法に関心を持ち、発見したことを自分の言葉で表現しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	授業観察 振り返りシート
	色と形の表現	「平面作品」 ・鑑賞することで学んだ色や形の表現技法を自分でどのように表現出来るかを考える。 ・自分に合った方法を用いて、自分なりに主題を生成して制作を計画する。 ・自分の計画に基づいて平面作品を制作する。 ・自他の作品を鑑賞し、互いのよさや違いに気づく。	a:平面作品の制作手順や使用道具・素材の特徴について理解している。 b:自分で設定した主題に基づいて計画を立て、制作することができる。また、道具や素材を適切に扱い、美しい作品を制作することができる。 b:より良い表現になるように工夫することができる。 c:細かいところまで気を配り、主体的に丁寧に制作をしている。 c:自分の作品のよさだけでなく、他者の作品についてよさや美しさに気づこうとしている。	ワークシート	作品	授業観察 合評態度 振り返りシート

後期	立体作品制作	・自分でテーマを設定し、立体の制作について計画を立てる。 ・使用する素材や道具、画材についても自分で選び、設定する。 ・完成した作品のプレゼンを行い、作品の魅せ方への理解を深める。 ・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを味わい、お互いに批評し合う。	a:自分の作りたいものをイメージして、実現可能な計画を立てられている。 b:効果的な表現技法を考え、素材を活かした表現することができる。 b:立体的な表現とは何かを考え、自分なりに制作に取り組むことができる。 c：自分の作品を見つめ直し、他者へ作品の魅力を十分に伝えることができる。 c:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 C:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わうことができる。また、自分の作品と比べながら、相手の作品について感じたことを伝えることができる。	ワークシート 計画書	作品	授業観察 合評態度 合評シート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度